



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和6年1月10日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ
団体名
所在地
連絡
フリガナ
代表者

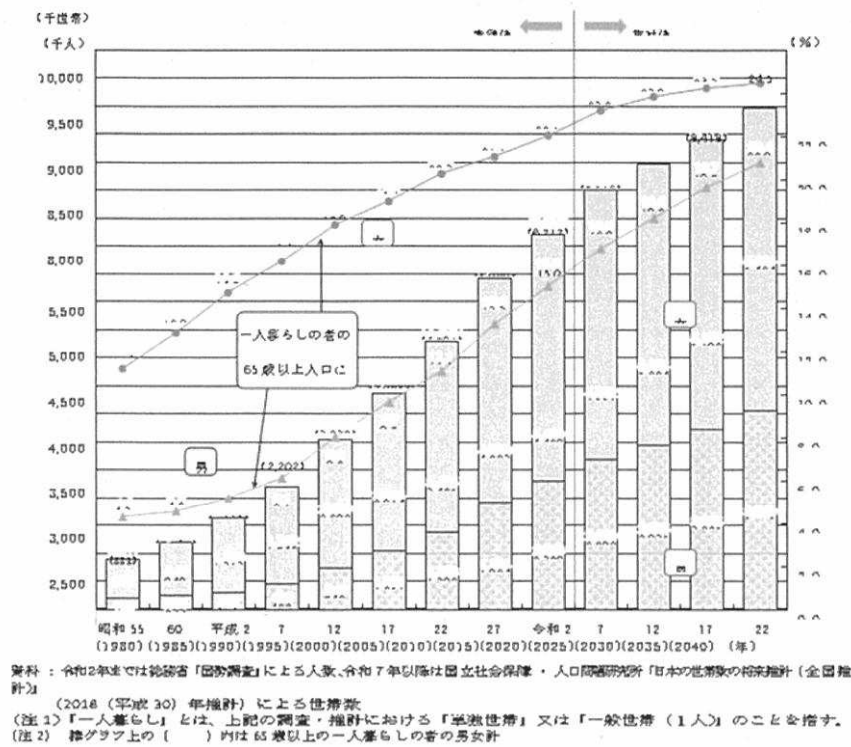
キョクリュウ チイキミンナノイバショツクリジッコウインカイ
きょくりゅう 地域みんなの居場所づくり実行委員会

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ☒ ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ☐ ウ 地域計画づくり ☐ エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他																
事業名称	きょくりゅう地域みんなの居場所づくり																
事業実施小学校区・地区	旭竜小学校・旭竜地区																
事業実施回数	☒ 新規 ☐ 継続 回目 / 【 年度から 】																
課題	■子ども達がのびのび遊べる場所が少ない 令和3年、NPO法人まんなが旭竜小学校児童を中心に、高島中学校区の住民にアンケートを取った。旭竜小学校区には児童館も公民館もなく、子ども達がのびのび過ごせる居場所少ないことが、アンケート結果から読み取れる。 旧旭竜幼稚園がどのような場所になればいい <table border="1"><thead><tr><th>施設の種類</th><th>数</th></tr></thead><tbody><tr><td>児童館や子育て支援センターのような施設</td><td>69</td></tr><tr><td>公民館のような施設</td><td>40</td></tr><tr><td>フリースクール</td><td>30</td></tr><tr><td>公園</td><td>21</td></tr><tr><td>商業施設</td><td>6</td></tr><tr><td>住宅地</td><td>1</td></tr><tr><td>その他</td><td>6</td></tr></tbody></table>	施設の種類	数	児童館や子育て支援センターのような施設	69	公民館のような施設	40	フリースクール	30	公園	21	商業施設	6	住宅地	1	その他	6
施設の種類	数																
児童館や子育て支援センターのような施設	69																
公民館のような施設	40																
フリースクール	30																
公園	21																
商業施設	6																
住宅地	1																
その他	6																

■定年後の居場所と高齢者の引きこもり

図 1-1-9 65 歳以上の一人暮らしの者の動向



内閣府が発表した令和4年版高齢社会白書によると、65歳以上の1人暮らしの高齢者は増加傾向にあり、今後もさらなる増加が見込まれている。高齢者の孤立化は当事者の健康寿命だけでなく地域全体の安全・安心を低下させる要因となるため、独居高齢者と地域をつなぎ、生きがいや役割を提供する地域の居場所の創出・拡充が喫緊の課題となる。旭竜学区の高齢化率は38%と市内トップクラスである。

事業の目的

【誰もが安全・安心して住み続けられる、まちづくり】

- ・乳幼児親子から高齢者まで、誰でも『困った』を持ち寄り、『やりたい』を実現できるような居場所をつくり、住民の孤立を未然に防ぐ。
- ・特定少数ではなく、不特定多数に開かれた居場所となるよう、誰もが訪れやすく過ごしやすい雰囲気、ルール、イベントをつくる。

■コミュニティカフェ 10月～3月

【日時】 月1回程度 9:30～12:00/14:00～16:30

【場所】 旧岡山市立旭竜幼稚園 岡山市中区中島50-1

【対象】 高齢者、一人暮らしの高齢者、小学生、中学生・高校生ボランティア、乳幼児親子、地域住民、誰でも

【内容】

- ・誰もが気軽に集える居場所『そんな感じで。』地域の住民の得意を生かした、手しごとイベントの開催。味噌造り、郷土料理、花の寄せ植えワークショップ、男性向けのコーヒードリップ講座などを予定している。
- ・周辺住民のニーズに合わせたイベントを開催する。
例としては、高齢者むけスマホ講座や歌の会などを。
- ・県内の多世代交流が盛んな地域の視察を通じて、居場所の設備やスタッフの役割のほか、雰囲気づくり、ルールづくりなどのノウハウを学び、取り入れる。

■コンポスト事業

【内容】

- ・住民の一体感の創出と自主財源の確保を目的として、コンポスト事業を実施する。
- ・旧旭竜幼稚園の園庭隅にコンポストを設置。地元桃太郎公園やグラウンドの落ち葉を利用し、土作りをする。
- ・土を利用し、園の畑や花壇の整備。地域イベントでの花の販売や土の販売。
- ・コンポストは地域住民の詳しい方と一緒に、子どもたちとワークショップにて製作する。
- ・桃太郎のまち岡山コンポストも利用し、住民で勉強会を開催する。

■子育て広場 10月～3月

【日時】 月1回程度 9:30～12:00/14:00～16:30

【内容】

- ・子どもがのびのび遊べる居場所。
親子向けの講座なども開催。岡山市旭竜子育て広場やNPO法人まんなかの子育て広場のノウハウを活用。
- ・親子向けの講座なども開催。
例として子供向け講座や離乳食カフェなど。
- ・子ども向けの講座や離乳食カフェをコミュニティカフェの隣で開催することで多世代での交流がより深まる。

	きょくりゅう 地域みんなの実行委員会 木工ワークショップで 地域の男性が講師 スマホ講座・歌おうの会 SDGs <u>コンポスト</u> 土の活用 <u>コミュニティカフェ</u> しと口交遊したい 園庭の隅にコンポストを設置 ↓ 公園や幼稚園の落ち葉を利用 ↓ 1. 作った土で野菜や花の栽培 2. 地域イベント・祭りなどで、花の寄せ植え 花の種・土・ポットのセットを販売 気軽に集える居場所 利用料 300円(飲み物、おかし付) 中学生以下は無料 (飲み物、お菓子はつかない) 毎月手しごとイベント開催(材料費を頂く) 郷土料理、味噌、うめぼし、針仕事 花の寄せ植えワークショップ 旧旭竜幼稚園 地域の思い出が詰まった場所 子育て広場 子どもがのびのび遊べる居場所 親子向けの講座など まんなか・旭竜子育て広場の ノウハウを活用 麻雀、将棋、囲碁をおく 離乳食講座が 一緒にできたらいいなあ 一緒に交流会したい! コンポストは地域の得意な方と 子ども達とワークショップでつくる
期待される成果・目標	■参加者1回平均30名程度を目指す ・地域で顔見知りを増やし、普段の挨拶や声かけができる関係性ができ、防犯や防災につながる。 ・知らない子どもはうるさいと感じることもあるが、知っている子だと「あの子はいつも元気ね。」「今日は元気がない」と気にかける。子ども達と接点を持つことで、子どもがのびのび生活しやすい地域になる。 ・好きや得意を活かし、居場所で役割を持ち地域とつながる。年齢が高い層も出入りしやすい雰囲気を作る。
企画などの工夫	■循環する仕組み作り 各事業を単体で行なうのではなく、コンポスト→土の活用、手しごとカフェ⇔子育て広場など、循環し交流できる仕組み。 ■地域資源の活用 人、自然、施設など地域資源を使うことにより、身近に感じてもらい参加のハードルを下げる。手しごとカフェは地域の得意を持つ人に講師としてきてもらう。 ■多世代交流+子育て広場 子育て広場と多世代交流の場所を一緒に置くことにより、より自然で親密な交流が可能。

協働する団体等	○市域や近隣の子ども会／広報やスタッフ ○旭竜学区連合町内会／広報・地域の相談役 ○旭竜学区安全・安心ネットワーク／広報・地域の相談役 ○老人会／広報 ○公民館／広報・地域の相談・運営などの相談 ○NPO法人まんなか／SNSやホームページなどでの広報、子育て関連の専門家への講座依頼、運営スタッフの確保
事業の情報公開	○活動頻度の低い内は、NPO法人まんなかのSNSやホームページを利用し発信していく。 来年度以降、イベント頻度や広報の頻度を見ながら、Instagram の開設を検討。 ○近隣小学校、中学校、町内回覧板、公民館などでのチラシの配布。 ○民間子育て団体のネットワークにて、各団体へのチラシ設置。参加者に配布をお願いします。
学区地区への広がり	※小学校区・地区より狭い範囲（単位町内会等）での事業を実施される場合は、学区・地区等への活動の広がりや課題の共有などをどのように進めていきますか。取組方について記載してください。 ・高島公民館での情報発信を通じて、高島中学校区全域への周知を図る。 ・旭竜小学校（児童 145 名）校区の隣は、児童数 1000 人を超える高島小学校であり、乳幼児親子や子どもの遊び場については同じ課題がある。 ・「ボランティアバッジ」コンポストや施設整備、子どもの見守りなどで協力していただくボランティアの方にはボランティア缶バッジを配布し住民参加を見える化する。これは今までの地域活動の中で、自分の地域貢献が目に見えると嬉しい、という意見からの発案である。カバンなどに付けられるバッジは、広告にもなる。
前年度からの見直し拡充点	※継続事業で申請される場合は、<u>前年度の事業の成果を踏まえ、今年度の事業の改善・拡充点を記載してください。また審査会での助言・コメント等について改善・拡充したこと、改善・拡充ができなかった場合は、改善・拡充ができなかった理由を記載してください。</u>

次年度以降の予定	① 次年度以後の活動計画 【2年目以降】 ○コミュニティカフェ、コンポスト、子育て広場の継続 ○マルシェや子ども祭りなどの新規イベント開催 ○旧旭竜幼稚園が使用不可になった場合はコミュニティーハウスで活動を展開 家庭用コンポストを利用しての事業継続 ○一年目の活動に携わった人が、次年度新規加入の実施メンバーや地域住民への説明会を開く。
	② 資金の確保について ☒次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☐（ ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策： ●基本は寄付や事業収入の拡大などだが、2年目から ESD 団体登録や他助成金でのコンポストの維持なども検討する。
その他PRしたい点	住民の思い入れのある旧旭竜幼稚園という休眠資源を活かし、地域の中心になる居場所を開設したい。町内会のネットワークを活かし、町内の団体を巻き込む形で、多世代交流の拠点にできればと考えている。実施の部分は、民間子育て団体の知恵と人材を利用し、乳幼児子育て中のスタッフ中心に子育て当事者目線に立った活動にする。

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月	・コミュニティカフェ事業・・・視察に向けての会議 ・コンポスト事業・・・情報収集 ・子育て広場事業・・・会議
5月	・コミュニティカフェ事業・・・視察 ・コンポスト・・・有識者へのオファー、高島音楽祭での花の販売 ・子育て広場事業・・・会議
6月	・コミュニティカフェ事業・・・視察の振り返り ・コンポストワークショップ開催に向けての会議、チラシ制作・配布 ・子育て広場・・・会議
7月	・コミュニティカフェ事業・・・開催に向けての会議 ・コンポスト・・・コンポスト製作ワークショップ開催 ・子育て広場・・・会議
8月	・コミュニティカフェ事業・・・開催に向けての会議、チラシ制作 ・コンポスト・・・小学生向けコンポストを見てみよう！（仮） ・子育て広場・・・会議
9月	・コミュニティカフェ事業・・・開催に向けての会議、チラシ配布、プレオープン（地域住民で話し合い） ・コンポスト・・・落ち葉集め ・子育て広場・・・会議
10月	・コミュニティカフェ事業・・・月1開催 ・コンポスト・・・まんなかマルシェでの花の販売 ・子育て広場・・・月1開催
11月	・コミュニティカフェ事業・・・月1開催 ・コンポスト・・・落ち葉集め ・子育て広場・・・月1開催
12月	・コミュニティカフェ事業・・・月1開催 ・コンポスト・・・落ち葉集め ・子育て広場・・・月1開催
1月	・コミュニティカフェ事業・・・月1開催 ・コンポスト・・・会議・手入れ ・子育て広場・・・月1開催
2月	・コミュニティカフェ事業・・・月1開催 ・コンポスト・・・会議・手入れ ・子育て広場・・・月1開催
3月	・コミュニティカフェ事業・・・月1開催 ・コンポスト・・・会議・手入れ ・子育て広場・・・月1開催

収支予算書

収 入

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内 容
岡山市補助金		307,200	
実施団体負担金			
参加者負担金		25,000	
協賛金			
寄附金、他収入		51,800	
収入合計	0	384,000	

支 出

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費		20,000	コピー用紙・インク
		20,000	カフェ食器
		50,000	文具、日用品、カラーボックスなど
②食糧費		5,000	視察お弁当代(5人を予定)
		10,000	会議お茶・コーヒー代
③印刷製本費		30,000	2500枚×2回
④燃料費		10,000	視察ガソリン代
⑤光熱水費		3,000	
⑥通信運搬費		2,000	切手代
⑦広告料		20,000	ボランティアバッジ製作費
⑧手数料		3,000	銀行振込、代引き手数料
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費		60,000	鉢植え材料
		20,000	コンポスト材料
		50,000	手仕事イベント材料費
⑪委託料		20,000	チラシ、デザイン資料等(年間)
⑫工事請負費			
⑬報償費		10,000	視察謝礼
		20,000	コンポスト講師
⑭保険料		6,000	1000円×6ヶ月
⑮旅費		20,000	レンタカー
		5,000	高速代
小計(①)	0	384,000	
⑯新型コロナウイルス 感染症防止対策経費			
小計(②)	0	0	
支出合計(①+②)	0	384,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	☒ 希望する ・ ☐ 希望しない
----------------	---

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

新規立ち上げのため、資金がない
